

# 米山奨学生自己紹介



## ダン フー タック

【出身国】ベトナム、フエ市

【留学先】札幌学院大学 経済経営学部 経営学科

【世話クラブ】恵庭RC

札幌学院大学経済経営学部、経営学科から参りました、ダン フー タックと申します。恵庭ロータリークラブに所属しています。

私の出身はベトナムのフエ市です。ベトナム中部に位置する歴史的な都市であり、世界遺産に登録されていることで有名です。フエ市はベトナムの古都として知られており、多くの宮殿、寺院、墳墓、博物館などがあります。また、フエ市は、ベトナムの伝統的な文化、芸術、音楽が栄える場所でもあります。

私の夢は、日越の貿易促進を目的とした会社を起業することです。ベトナムでは日本ブランドが大変人気であり、ベトナム人にとってはMade in Japanの製品は高品質であると認識されています。私は日本での留学を経て、日本語と英語の力を伸ばしつつ、日本の経営知識を学ぶことで、将来の夢を実現するための準備をしています。

大学卒業後は、日本の貿易会社での就職を希望し、事務の経験を積む予定です。また、法律に関する手続きや資本金の準備、市場ニーズの把握など、日本での企業経営に必要なスキルを身につけるために努力していきます。

私は日本が戦後復興から奇跡的な発展を遂げた歴史に興味を持ち、日本製品のベトナムでの貿易促進を通じて両国間の架け橋になりたいと考えています。日本での経験を活かし、日本とベトナムの両国をつなぐ役割を果たすことを目指して、夢に向かって頑張っていきます。

ロータリー米山奨学生になってまずは私の教育の機会が広がることを期待しています。これにより、自分の興味や将来の夢に向けた学習を深めることができ、自己啓発や専門的スキルの向上を図ることができます。また、留学などの経験を通じて、国際的な視野を持ち、異文化を理解し、グローバルなリーダーシップを身に付けることができることを期待しています。さらに、ロータリー米山奨学金は、社会貢献や地域奉仕の精神を重視していることから、社会的な影響を与えることができるチャンスを得ることができます。私は、この奨学金を活かし、社会的な課題に対して自らの力を発揮し、社会に貢献することを意気込んでいます。



## 陳秋梅（チン シュウメイ）

【出身国】中国 江西省南昌市

【留学先】小樽商科大学大学院 商学研究科

【世話クラブ】小樽南RC

私は2023年度のロータリー米山記念奨学会の小樽南RCの奨学生、陳秋梅と申します。出身は中国の江西省南昌市で、多くの山々と川に囲まれたところです。現在は、小樽商科大学大学院の商学研究科の現代商学専攻の修士2年に在籍しております。このたび、ロータリー米山奨学金の奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。

私は、自分の夢と日本文化への憧れのため、2020年の年末日本へ留学に参りました。中国にいた時、日本語を勉強していましたが、会話能力はまだ未熟でした。そのため、最初は札幌の日本語学校で一年ほど勉強し、その後小樽商科大学に進学してきました。留学生としての生活は、言語や文化の違いに苦労することもありましたが、同時に、多くの貴重な経験を積むことができました。異国で一人暮らしをしていることで、私はますます自立心が育ちました。

普段は、ドラマやアニメなどを見たり、音楽を聞いたりすることが好きです。また、旅行もとても好きです。よく連休を利用して近場に行きます。残念ながら、コロナのため、遠くには行けませんでした。しかし、近頃コロナが収束するとともに、私は色々な場所に行きたい、異なる地方ならではの自然や風土人情を親身に体験しながら、自分の研究に役立てるために観光マーケティングに関する問題を深く考えています。

一方、ロータリー米山記念奨学会のカウンセラー制度のおかげで、色々な「人」と密に接するチャンスが増え、多くのロータリアンとふれ合い、様々な分野の方とコミュニケーションを取り、視野を拡大することができました。また、ロータリーの理念である「奉仕の精神」は、私たちが持つ社会的責任を真剣に考え、行動することを促してくれます。これからは、積極的にクラブの活動に参加し、自分自身を成長させ、地域社会に貢献することができると期待しています。

卒業したら、私は日中観光会社に入って、ロータリーの理念を持って、大学院で習得した知識や留学期間の経験を活かして観光客に日々のストレスを解消させて幸せが感じられるような旅を提供したいと考えています。日中観光業の架け橋になって日中友好関係又は国際親善と国際平和のために貢献できるように頑張っていきたいと思っております。



## アニス シャズワニ キステイナ ビンティ ヒシャム

【出身国】マレーシア

【留学先】室蘭工業大学 情報電子工学系専攻

【世話クラブ】室蘭北RC

私は2023年度のロータリー米山記念奨学生のアニスと申します。世話クラブは室蘭北ロータリークラブです。現在、室蘭工業大学で情報電子工学系専攻を学んでいます。どうぞよろしくお願いいたします。

好きなことは色々ありますが、最近特にお菓子を作るのにはまっています。ケーキやクッキーを作り、友達と一緒に食べています。また、運転が好きなので、運転免許を持っていない友達を行きたい場所へ連れて行っています。そのため、室蘭の観光地をたくさん知ることができました。写真を編集するのも好きなので、暇な時に室蘭のマレーシア留学生の活動写真を編集しSNSに投稿しています。インスタグラムのアカウントはmuroranese.tvなので、ぜひ見てみてください！

初めて日本に来たときは、いろいろな期待がありました。日本は世界で最も安全な国のひとつと評価されているので、女性にとっては日本の安全性はとても魅力的です。多くの国では女性であることはとても怖いことであり、特に夜間の一人歩きはとても危険です。しかし、日本では夜間に一人で歩いても安全であるという特権を享受することができます。

また、多くの国では、国民にしか手軽なヘルスケアを提供しないため、その国に住む外国人はヘルスケアを容易に受けることが出来ません。日本では外国人を含むすべての人が国民健康保険に加入できるため、手軽なヘルスケアを受けることができます。さらに、コロナ禍で日本政府は国民だけでなく外国人へも経済的支援をしています。これからも外国人のために色々サポートしていただけますと幸いです。

ロータリーは、平和を推進し、社会に貢献することを目的として設立され、多くの留学生に日本への留学資金を提供しています。私はロータリー米山記念奨学生として、異文化を受け入れる寛容さを人々に提唱していきたいと考えています。日本は日本人をネイティブとする国であるため、多様性はあまりありません。しかし、日本に住む外国人が増えるにつれ、日本の多様性が高まっていくに伴い、日本人は他の文化を学ぶことに寛容になり、文化の違いを尊重すべきだと思います。

「日本に住んでいるにもかかわらず、なぜ自分たちの習慣を続けているのか」といった質問はよくあります。そんな中、私たちの習慣や文化の違いを理解しようととても熱心である周りの人へは感謝しています。今後もお互いの文化の理解を深めるために頑張りましょう！



## ドルジバット ビンデリヤ

【出身国】モンゴル ウランバートル市

【留学先】札幌学院大学 経済学部 経済学科

【世話クラブ】江別西RC

皆様、こんにちは。

私は2023年度のロータリー米山記念奨学生のドルジバットビンデリヤと申します。出身はモンゴルの首都ウランバートル市です。現在は札幌学院大学経済学部経済学科4年に在学しています。そして、今年の4月から江別西ロータリークラブにお世話になっています。

私は小学校一年生の時から日本語の勉強をしていました。幼い頃から日本の文化が好きだったからです。そのため、実際に日本に留学し、高等教育を身につけながら自分の日本についての知識を広げたい、日本人の几帳面で思いやりがある心を学び、もっと自分を成長させたいという意欲が高まり、ちょうど5年前の2018年4月に来日しました。東川町の日本語学校で2年間日本語を学修しました。その後、札幌学院大学の経済学部経済学科のCUPコース情報プログラムに所属しています。そこで、経済学を中心に、現代社会に必要な情報技術を学んでいます。最終的にはAIを活用したオリジナルのアプリを作成することを目標に、AIの仕組みやプログラミングの知識・技術を身につけようと日々勉学に励んでいます。

大学卒業後、日本のIT企業への就職を考えています。大学で身につけた知識を生かし、活躍したいです。日本の企業の一員となり、自分の特徴でもある常に学ぶ姿勢を活かして新しい知識を学び、様々な経験を積み重ね、挑戦をしていきたいです。そうすることによって、自分自身の視野を広げ、さらなる自身の成長をめざしています。また、日本の企業で技術を磨き十分な経験を積んだ後には、他人に教える側になり、人材育成に貢献をしたいとも思っています。これを実現するために、さまざまな知識を吸収し、自分を磨き、もっと優秀な人間になるように頑張っていきたいと思います。

この度、ロータリー米山奨学生として、皆さんと交流できる機会が与えられたことに心から感謝し、嬉しく思っております。今後も何卒よろしくお願いいたします。



## チュー コック ダット

【出身国】ベトナム

【留学先】札幌国際大学 観光学部 観光ビジネス学科

【世話クラブ】岩見沢東RC

### 1. 日本に留学した理由

高校を卒業した後、海外で生活してみたい、母国より発展している国の大学で勉強したいと思い始めたのがきっかけでした。当時、日本の経済は世界第2位で、そして、ベトナム人は日本人の勤勉で真面目な姿にとっても憧れているので、日本に留学することを決意し、2017年に来日しました。

### 2. 好きなこと

趣味はサッカーをすることと、料理をすることです。サッカーは小学生の頃からやっていて、怪我をたくさんし、母に何度も怒られましたが、友達とサッカーをすることは1番楽しいです。料理は、日本に来る前にはあまりしたことがありませんが、日本に来てから飲食店のアルバイトを始め、自分で作った料理を食べてもらったお客様から美味しいと言ってもらった時にすごく嬉しいと思い、料理をすることが好きになりました。

### 3. 日本に対する期待

日本でたくさん学び、積んだ経験を活かして、母国の航空業界に貢献できるようになりたいと思います。大学では「ベトナムとつながる航空路線の開拓」という研究を行っています。具体的には、現在、ベトナム人は仕事、留学、旅行のために北海道に多く来ていますが、ベトナムから北海道までの直行便がなく、「移動することが不便」という課題を抱えています。この課題を解決するため、日本の航空会社にヒアリングしながら、在日ベトナム人を対象にアンケート調査をしたり、収集した様々なデータから分析し、対策方法を考えています。そういう活動は実際に日本で行わないと難しいので、大学で専門的な知識をできるだけ身につけ、卒業後も、日本企業で就職し、経験を積み、グローバルな人材で活躍できることを期待しています。

### 4. ロータリーに対する期待

グローバルな人材で活躍できるためには、異文化や多様な価値観を理解することが不可欠なので、ロータリー米山奨学生となる際、世話クラブの例会や奉仕活動に積極的に参加し、大学では得られない出会いや交流を通じて、ロータリーの理念、日本の文化を学べるようになればと思います。



## 楊欣霖 (ヨウ キンリン)

【出身国】中国 河南省

【留学先】北海道大学大学院 国際広報メディア・観光学院

【世話クラブ】札幌ライラックRC

Q：好きなこと

A：自分の研究対象である地域文化を演じる舞台作品や没入体験などが、自分をもっとも興味を持っているものです。それ以外なら、スポーツ、特にテニスとランニングが大好きです。また、映画や文学も趣味です。

Q：日本に対する期待

A：自分にとっての異文化の環境である日本においては、自分の人生の枠を超え、可能性を拓いていきたいと思います。人生の可能性は常に何かしらの枠によって制限されると思います。私は、そのような枠を絶えずに超越していくことを、自分の人生の方向性として考えております。枠を超越する方法は大きく2つあると思います。1つは試練に挑み続けることであり、もう1つは積極的に異質な他者と出会って交流することです。日本での留学は、私にとって大きな試練でもあれば、異質な他者と出会う絶好の機会でもあります。

Q：ロータリーに対する期待や意気込み

A：ロータリーでは、世界平和という崇高な目標を持つ有志と知り合い、色々な活動に参加する中で社会奉仕の精神を学んでいきたいと思います。

社会奉仕に大事なのは、アドラー心理学で言うところの「共同体感覚」だと思います。つまり、「人間は皆、互いを支え合う仲間であるという感覚」を持ってはじめて、人は社会に奉仕する意欲が湧いてくると考えられます。それは温かい世の中の実現のためには、必須だと思います。生存競争の論理が信じられている社会はどれだけ冷たいものでしょう。もし皆が、いや、一人でも多くの人が、生存競争の論理を信じるのではなく、共同体感覚をもって社会奉仕の活動を始めたら、間違いなく温かい世の中が現れてくると思います。それは決して簡単なことではないし、その前提として、自分と異質な他者を、嫌って排除するのではなく、理解して受け入れる心が必要でしょう。

他者を受け入れる心を一般大衆に持ってもらうきっかけを、観光の場で提供するというのは、長年観光学を学んできた自分の志です。その意味で、社会に奉仕し、世界平和を推進することを使命とするロータリーは、まさに自分に相応しい組織ではないかと思います。これからの一年半の間、何卒宜しくお願いします。



## 代書芸（ダイ ショゲイ）

【出身国】中国 四川省 成都

【留学先】北洋大学 国際文化学部

【世話クラブ】札幌北RC

ロータリーの皆様、こんにちは。

いつもご支援頂き、誠にありがとうございます。私は2022年度ー2024年度の奨学生代書芸（ダイ ショゲイ）と申します。所属している世話クラブは札幌北ロータリークラブです。中国・四川省の成都から参りまじや。今年は日本6年目です。北洋大学国際文化学部の4年に在学しています。これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

これから私の好きなことについて紹介いたします。

私は食べることが好きで、好きな料理も数え切れないほどたくさんあります。外食より家で自炊する方が好きなので、日本に来てから大体8割は自炊しています。そのほとんどが、地元の料理である四川料理です。



【自炊の四川料理】

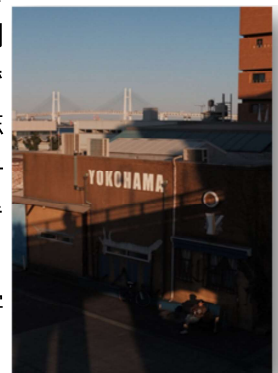
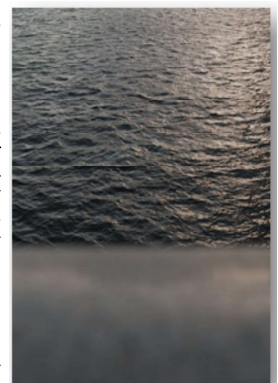
そのほか、写真を撮るのも好きです。暇なときは、大体散歩や旅行しています。散歩する時にはいつも相棒のカメラと一緒にです。

ロータリークラブは地域の人々の生活を改善したいという情熱を持って社会に役に立つ、貢献する活動に力を注いでいます。またロータリー米山記念奨学学会は学業に熱意を持ち、異文化理解、コミュニケーション能力への意欲や能力に優れ、将来母国と日本の架け橋となるような留学生を支援することを目的としています。

光陰矢の如し私が札幌北ロータリークラブに奨学生として入ってもう一年が経ちました。この一年間は間違いなく、私の今までの留学生生活の中で最も有意義な一年でした。クラブの毎月の例会を通して、年齢や職業などに関わらず、クラブの皆様と交流ができて、色々な学校で学べない知識を勉強できて本当に素晴らしいです。昔の私はスピーチの時に緊張し過ぎて原稿を忘れてしまった経験がたくさんありましたが、この一年間、たくさんスピーチのチャンスをいただき、自分が考えていることをうまく表現できるようになりました。本当にありがとうございました。

また、私は今、大学院への進学を準備しています。大学院で日本語教育学の異文化コミュニケーションについて研究したいです。私の研究を通して、異なる国と異なる文化がもたらした一連の問題を改善し、世界文化交流の架け橋になることを望んでいます。卒業した後、日本で就職しても、母国に帰ってもきっと人にアドバイスすることができる人になると思います。

日本に来てこの五年間で学んだことやロータリーで学んだ様々な知識は本当に私の人生に大きな影響を与えています。深く感謝いたします。





## 王 馨晨 (オウ シンチェン)

【出身国】台湾

【留学先】酪農学園大学獣医学部

【世話クラブ】江別RC

台湾から来ました王馨晨と申します。江別ロータリークラブに所属しております。現在、酪農学園大学獣医学部の6年生です。伴侶動物外科学ユニット研究室に所属しております。毎日大学付属動物病院での診療、手術に携わります。座学で勉強した知識を活用する場であり、非常に勉強になります。毎日忙しくて疲れましたが、病気を患った犬と猫たちを治療して元気が戻るのはとてもやり甲斐を感じております。

好きなことはトレーニングと絵描きです。診療や手術にも非常に体力を使うので、トレーニングによって体力を鍛えました。また、トレーニングは体力をつけることができる以外に、心を落ち着かせる効果も感じます。勉強に疲れた時に、集中力を回復させるためにトレーニングをよくしています。また、獣医学の勉強ノートを作る時によく絵描きで勉強していました。絵描きが趣味になり、今は研究室のロゴデザインをしたりすることもあります。

日本で獣医療を学んだ上で、日本獣医療のすごさを深く理解しました。日本は一次動物病院と二次動物病院があります。さらに、内科、外科、歯科や皮膚科などの専門科があります。台湾の獣医療は専門科がほとんどなく、一般動物病院しかありませんが、高度な獣医療を目指すために専門科は必要だと考えられます。また、日本は専門医や色々な分野の獣医学会があります。台湾は日本と比べて、とても少ないです。各地の知識や研究の交流も少なく、獣医療の発展がなかなか進みにくい原因と考えられます。台湾の獣医療は日本に学ぶべきだと思います。将来、卒業後は日本で経験を積み重ねて、専門医の資格を獲得してから帰国したいと思っています。日本の専門科、専門医制度を台湾の獣医療に貢献して、研究分野にも活性化させたいと思っています。

ロータリーは非常に多くの人材が集まっている場であり、日本の人材と交流することによってたくさんの方が学べると期待しています。また、ロータリーは日本の人材以外にも優秀な外国人と交流できると思います。世界各国の人々と交流することで、さらに視野を広げた上で、自分が母国と世界の架け橋になり、母国の進歩に貢献したいと思っています。





## 段開峰（ダン カイホウ）

【出身国】中国

【留学先】北海道大学北海道北方圏環境政策工学専攻

【世話クラブ】札幌東RC

私は段開峰と申します。世話クラブは札幌東ロータリークラブですが、北海道大学北海道北方圏環境政策工学専攻の博士2年です。現在は、自動運転バスの専用道路を導入することに関する研究を進めています。

私は旅行が大好きで、旅先でたくさんの思い出を作ることが好きです。旅行すると、新しい文化や風景を見ることができ、常に新しい発見があります。また、旅先で出会った人々との交流も貴重な経験です。旅行に行くと、日常生活の中では体験できないことがたくさんあり、自分自身を成長させることができますと感じます。旅行中には、風景や人々を写真に収めることも大好きです。写真を撮ることで、自分が見た風景や出会った人々を思い出すことができます。また、撮影した写真を家族や友人と共有することで、旅行の思い出を共有することもできます。

私は日本に対しても大きな期待を抱いています。日本は、世界中から多くの人々が訪れる観光地であり、自然や文化、食べ物など多くの魅力を持っています。伝統的な文化や美しい景色に出会い、新たな人々との出会い、そして食文化に触れることです。私は日本について多くのことを学び、理解を深めたいと思っており、それは私の将来の仕事にも役立つことでしょう。

今回ロータリーに参加する理由は、私のこれまでの人生に大きな影響を与えてくれた「奉仕の精神」を学び、実践するためです。私は、ロータリーのグローバルなネットワークとその行動原理に共感しています。私は、ロータリーの一員として、自分自身が成長し、地域社会に貢献することを目指しています。ロータリーに期待することは、様々な文化に触れ、異なる考え方に会い、国際交流を通じて多くのことを学ぶことです。また、ロータリーに参加することで、自分自身のスキルアップやリーダーシップ力の向上、そして奉仕活動を通じて社会貢献をすることができると思っています。

このプログラムを通じて、多くの人々と出会い、新しい友人や仲間を作り、日本の文化や言語を学び、私自身の成長と地域社会への貢献を目指したいと思っています。このプログラムに参加することで、私の将来の目標を達成するために必要なスキルや経験を得られると信じています。

今後も、ロータリーの活動に参加し、社会貢献活動に積極的に取り組んでいきたいと思っています。また、ロータリーを通じて、世界中の人々と交流し、国際的な視野を広げたいと考えています。



## 田影（デン エイ）

【出身国】中国 内モンゴル

【留学先】酪農学園大学 環境リモートセンシング専攻

【世話クラブ】岩見沢RC

皆さん、こんにちは。

田影（デンエイ）と申します。米山奨学生として岩見沢ロータリークラブにお世話になっております。私は酪農学園大学の環境リモートセンシング専攻の博士三年生でございます。出身は中国の少数民族の内モンゴルでございます。2016年4月から日本に来て、酪農学園大学の研究生として勉強を始めました。今はモンゴルの地表面の季節変動と砂漠化について研究しています。中国の大学の四年間で環境科学を勉強して、卒業してから日本文化の体験と自分の専攻分野を深く理解するために日本に留学しています。

私の趣味は旅行と美味しいもの食べることです。そして、日本文化を体験するために、学校が休みの間に友達とよく旅行に行って、当地の食べ物を食べて、いっぱい写真撮りました。私の好きな料理はお寿司、焼き肉、ラーメン、牛丼です。

日本に来たばかりの時に、アルバイトをしながら日本語を勉強しました。アルバイト期間でたくさん日本人とコミュニケーションを取る機会があって、交流能力もどんどん上がって、ゼミ研究室でも仲がいい友達ができました。学習の面では日本の最先端の科学技術など、今まで知らなかった新しい知識を得ることで視野を広げることができました。将来多国籍企業で働くために、多様な人種的バックグラウンドを持つ人と一緒に学べる環境で切磋琢磨したいです。

昨年の4月から米山奨学生になって、この一年間の奨学生生活を通して、大学と異なる社会経験豊富な皆さんと交流をすることによって生活の意味を改めて理解し、視野を拡大することができて、皆さんから社会奉仕精神を学びました。将来は社会に役に立つ人になって、皆さんの社会奉仕精神を伝承していきたいと思います。また、米山奨学生の使命と役割が改めて理解し、将来の努力する方向性も明確になりました。これは今までの最も成長した点だと思います。これから母国と日本の架け橋になるだけでなく、将来的に社会に貢献し、世界平和のために寄与できる人間になることが期待されていることがわかりました。日本のロータリアンの皆さんに、感謝とともにお伝えしたいのは、私たち留学生にとって、経済的な支援はもちろんですが、それ以上に心に寄り添ってくれるような、精神的な支援がとても大切だということです。

最後に、日本での学業修了後、日本の企業に就職するつもりです。優秀な環境研究者になりたいです。将来、自分の力で日本と中国の国際関係に貢献して、そして、文化と世界的な環境発展に頑張りたいと思っています。米山記念奨学金のおかげで、学校の研究と生活を両立することができ、心から感謝を申し上げます。



## NUR EMIRA IRDINA BINTI NORAZMI

(ヌル エミラ イルディナ ビンティ ノラズミ)

【出身国】マレーシア

【留学先】札幌国際大学・観光学部 国際観光学科

【世話クラブ】新札幌RC

### 好きなこと

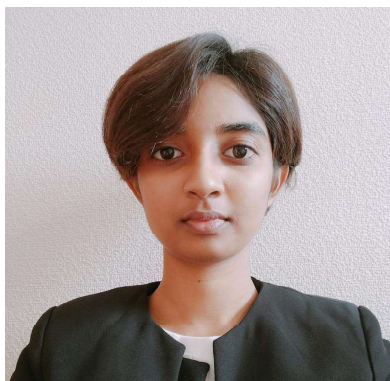
私は好奇心旺盛な性格のためか、趣味の領域までいかないような好きな事がたくさんあります。Lo-fi (ローファイ) をかけながらタスクやイラストを描くこと、温泉やスーパー銭湯に行くこと、カフェ巡り、かぎ針編み、いい香りのハンドクリームを塗ること、カフェで自分の時間を過ごすこと、ウィンドウショッピングをすることです。

### 日本に対する期待

私は「やさしい日本語」に期待があります。それは、1995年の阪神・淡路大震災のとき、日本語も英語も分からず、生きるために必要な情報を得られずに孤立してしまった在日外国人が多くいたからです。日本語は、他の言語に比べて言葉の数も多く、ひらがなとカタカナと漢字を混在して使うため、とても難しい言語だと言われています。特に、漢字圏以外の地域の外国人にとっては、音読みと訓読みが存在する日本の漢字は、とても難しいと感じます。そんな中で、意思伝達をスムーズに行うことができるのが「やさしい日本語」です。「誰にでもわかりやすい」が最大のメリットです。難しい表現がなくなることで、緊急時や難しい手続きに関する案内も多くの人へスピーディーに情報提供ができます。国語が多種多様な中、インバウンドや日本で生活する外国人は、英語よりも日本語での情報発信を望んでいると思います。これからの多言語文化社会における「やさしい日本語」は、外国人とのコミュニケーション問題を解決することもできます。「やさしい日本語」が外国人にとって分かりやすいだけでなく、小さい子供や高齢者にも分かりやすい表示方法です。在住外国人を含め様々な人が共に生きる多文化共生社会の推進のため、こういった心配りがあるととても助かります。伝える相手をもつ文化や環境にも配慮しながら、やさしい気持ちで「やさしい日本語」を活用していきたいです。

### ロータリーに対する期待や意気込み

私の夢は母国マレーシアと日本の懸け橋になることです。4年間日本に留学しに来たからには、日本のことをもっと深く知りたくて、日本でいい経験をし、心残りがないように沢山思い出を作りたいです。ロータリアンとして、ロータリーを通して、日本の文化に触れ、その生活の中から社会に役立って、リーダーシップ、開放的な心、冒険精神、好奇心、カリスマ性など奉仕の精神も学んでいきたいです。自分が人間的に成長していける舞台がロータリーだと確信しています。



## クシニ・ハトゥルシンゲ

【出身国】スリランカ

【留学先】はこだて未来大学

【世話クラブ】函館RC

私はクシニ・ハトゥルシンゲと申します。函館ロータリークラブに所属しています。はこだて未来大学の修士2年のスリランカからの留学生です。私は知能情報科学分野のシステム情報科学を専攻しています。

私の研究は、SNS投稿に基づく感情的なライフログシステムの構築に関するものです。主な研究分野は自然言語処理と機械学習です。

去年函館に来て、初めての一人暮らしでした。そのため、家事のほとんどを学ばなければなりませんでした。さまざまなビデオやブログを見て、家を整理し、料理の仕方を学びました。当初、それは複雑で失敗だらけだったけど、だんだん上手になってきて面白いです。

函館は自然と美しい景色にあふれた街です。山もある海もある函館の散歩がとても楽しかったです。私は四季のない国からまいりましたので、四季によって環境と人生生活の移り変わりを見るのは面白いです。

新型コロナウイルス感染症でほとんどの時間を家で過ごした後、ようやく友達とリアルタイムで会うことができました。周りの人はみんな優しくフレンドリーだったので、いろいろな話をしたり、素敵な場所に行ったり、日本食を食べたりするのが楽しかったです。

疲れて気分転換が必要なときは、映画館に行って日本の映画を見ます。日本の映画はとても感情的で心地よく、最後には必ずメッセージを残してくれます。私は日本の映画を楽しんでおり、それは私の日本語を改善するのにも役立ちます。

卒業後は日本で働く予定です。私は研究と就職活動で忙しい。私は日本の文化と人々が好きです。私は日本中を旅して、日本の文化についてもっと学びたいです。一番学びたいのは生け花についてです。

ロータリークラブは、人々を大いに助ける世界中でよく知られているクラブです。米山記念奨学金は、私のような留学生が生活費を気にせず勉強に集中するのに非常に役立ち、日本文化を探究する時間が増えました。

毎週のミーティングや他のイベントに参加することは、素晴らしい機会と経験です。ですから、来年の3月まで、日本についてもっと知識を深め、思い出を集め、さらに学ぶことを喜んで待っています。



## 羅 炫禹 (ナ ヒョヌ)

【出身国】韓国 富川

【留学先】北海道大学 機械宇宙工学専攻

【世話クラブ】札幌手稲RC

こんにちは。北海道大学修士2年の羅炫禹（ナヒョヌ）と申します。出身は韓国の富川（プチョン）です。現在札幌手稲ロータリークラブでお世話になっております。専攻は機械宇宙工学ですがその中でも基礎的な研究をしており、主に「分子動力学シミュレーション」をテーマにしています。

私は子供のころから手際が良く、モノを分解したり組み立てたりすることが好きでした。自然に学問としては機械工学が、そして趣味としては日本のプラモデルを好きな学生になりました。そのお陰で日本に留学するきっかけともなりました。手際がいいことから手を使うことは他にも好きなことが沢山あります。ボウリング、パソコンの組み立て、PCゲームなど数えきれないことに手を出しています。ボウリングは一時期はまり過ぎてスタッフの無料ゲームをするためにアルバイトをボウリング場でしたこともありました。パソコン好きという特徴は研究でも活かして、パソコンを使ったシミュレーションの研究を行っております。

日本に対して抱いている期待はすでにいくつか経験していることですが、いろんな趣味を楽しむことができるという点です。勉強と研究をするにあたって何より大事なことはちゃんと休むことであると先輩の研究者からお伺いしたことがあります。勉強も頑張って、趣味も頑張るといった仕事と私生活の両立がうまくできるのが今までの経験であり今後日本で生活を続ける上での何よりの期待です。

ロータリー米山奨学生になってから新たな日々を過ごしております。金銭的支援により、研究と趣味などに費やせる時間が増えたのはもちろん、日本で長い時間過ごしたにも関わらず接することのできなかつた新しい一面に会っています。学校の先生やアルバイトの先輩が日本社会で経験することのできた大人の全てでしたが、社会の各所で活躍されているロータリアンの方々と話ができたり、例会に参加し新たなコミュニティーのアイデンティティーや文化を感じることができたりする機会となっております。

これからもよろしく申し上げます。



## クリステナ シュミット タニシャ

【出身国】ドイツ

【留学先】北海道大学

【世話クラブ】滝川RC

滝川ロータリークラブの米山奨学生であるクリステナ・シュミットと申します。現在、北海道大学で4年目を迎え、政治経済、社会、歴史、文化の観点から日本学を学び、特に日本の音楽産業における法律とデジタル化の関心に焦点をあてています。

日本の音楽業界を支配する法律や規制の枠組みが、その膨大な音楽カタログのデジタル化と世界的なデジタル配信という点で、業界の成長と発展をどのように妨げているのかに興味があります。私の希望は、音楽配信などのデジタル音楽形態に対応するために、現行の法律を近代化し、世界中の聴衆が日本の音楽に合法的かつバリアフリーでアクセスできるようにし、日本の聴衆が海外の音楽をより多く楽しむようにする方法を明らかにすることです。

このような興味は、クラシック音楽家と音楽会社の起業家である家族的背景と、私自身が様々な種類の音に対する愛と感謝の気持ちから生まれたものです。竹内マリヤやワンオクロックなどのアーティストを友人とカラオケで朝方まで歌うこともあり、日本に来てからの3年半で、日本文化の中で最も人気のある社会的娯楽のひとつに、私のこの部分の快適な住処を見つけました。また、クラシック音楽のコンサートに行くのも大好きです。音楽は、理解、対話、異文化交流を促進する力を持っているので、多様な音楽体験を通じて、ロータリーのメンバーと絆を深める楽しい機会を作りたいです。

健康増進にも非常に情熱を持っています。

日本との最初の出会いは音楽でしたが、大の料理好きだった私は、海外で味わえる日本料理の味や食材の種類の多さにも即座に惹かれるようになりました。岩見沢の農場で働きながら、日本の食材や調理法を試し、学び、自分のものにする日々を送っています。そして、ボクシングやサイクリング、ジムでのウェイトトレーニングを楽しんでおり、同級生の栄養やフィットネスの指導をすることも大好きです。また、地元札幌や日本のボディビル界とも交流し、互いに学び合い、その成果を9月に開催されるボディビル大会に出場したいと願っています。旅行も大好きで、日本の美しい風景や夜景、温泉や森林浴など、日本ならではのリラクゼーションを体験し続けたいです。

多くの料理や活動的な体験をし、ロータリーや地域の人々と、幸せで長生きする方法について意見を交換できればと思います。

日本人が外国からの影響に耳を、胃を、そして心を開き、より多くの外国人が日本のために同じことをしてくれることが、私の日本に対する究極の願いです。

ロータリーの一員となる機会に感謝し、地域社会、そして世界各地に良い影響を残すために協力し合えることを楽しみにしています。